

### 3 お母さま方の環境問題に関する意識・行動調査結果

エコ・マザー①活動時に、ご参加いただいた方(お子さまを対象として実施した場合には、保護者の方々)を対象としたアンケートを実施し、いただいた貴重なご意見等については、エコ・マザー活動をはじめ、当社環境活動を充実する際の参考にさせていただいております。

アンケートの配布数は、7,553件、回答数は2,434件(回答率32.2%)でした。

#### 用語説明

詳細については用語集を参照ください。

#### エコ・マザー

環境エネルギー問題等に関して、お客さまと九州電力を結ぶコミュニケーター(パイプ役)のこと。

#### オゾン層

オゾン濃度が高い大気の層のこと。太陽光に含まれる有害な紫外線の大部分を吸収する働きをしている。

#### 酸性雨

工場等から大気中に排出される硫酸化合物や窒素化合物等の汚染物質が大気中で硫酸や硝酸のミストとなり、雨水に溶け込んで強い酸性を示すようになった雨のこと。

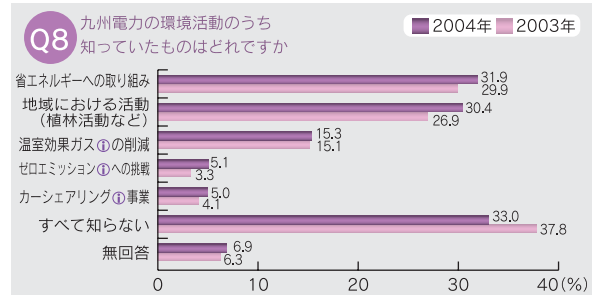
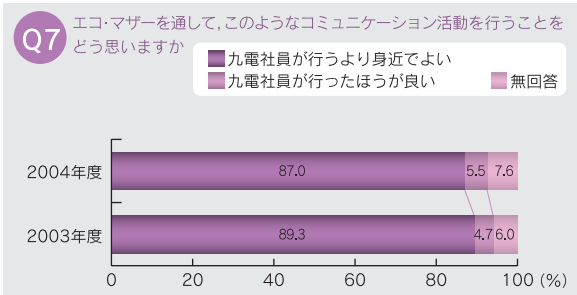
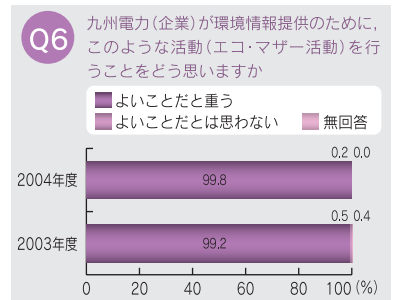
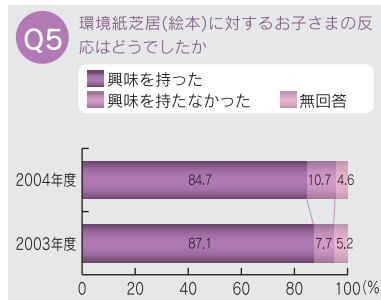
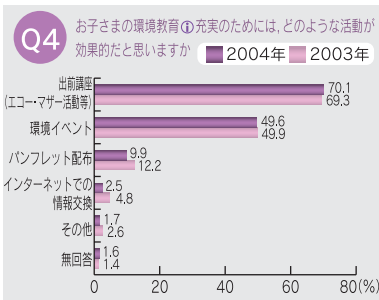
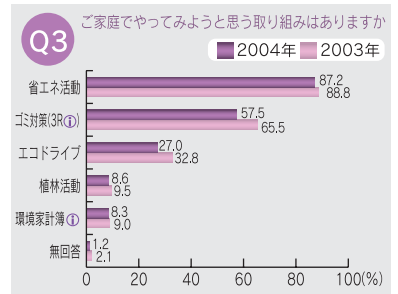
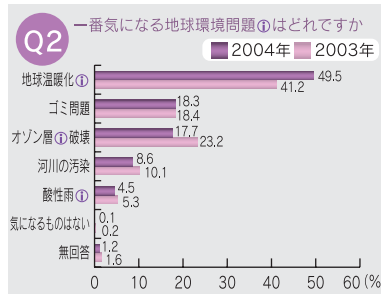
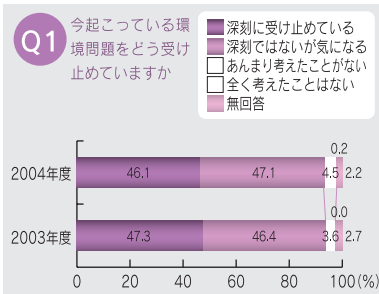
#### 3R

Reduce(発生抑制), Reuse(再使用), Recycle(再利用)のことを意味し、それぞれの頭文字をとって3Rという。その順番は廃棄物処理に対する優先順位を示している。

#### 環境家計簿

自分の家庭生活が環境にどのような影響を及ぼしているか、日常生活における家庭の環境への収支を記録するもの。

- ・地球環境問題
- ・地球温暖化
- ・環境教育
- ・温室効果ガス
- ・ゼロエミッション
- ・カーシェアリング
- ・京都議定書
- ・CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)



#### アンケートの結果と活動への反映

2003年度のアンケート結果から、企業による環境情報提供へのご理解(Q6)と、エコ・マザー活動等の身近な視点での活動に期待(Q4)が高いため、2004年度も環境紙芝居の読み聞かせを継続するとともに、ゴミ分別等のパネルシアター、発電体験、環境クイズ等の充実を行い、より「参加型」、「体験型」となるような活動に努めました。

#### 〈結果総評〉

- 京都議定書①発効等の社会的関心の高まりもあり、温暖化問題への関心が大幅に増加しました(Q2 41.2→49.5%)。
- ご家庭でやってみようと思う取り組み(Q3)について、すべての項目において低下しましたが、既に取り組みされていることによる低下が考えられます。
- 企業による環境情報提供に対するご理解がさらに高まりました。(Q6 99.2→99.8%)。
- 「参加型」、「体験型」の活動を充実したことにより、環境紙芝居(絵本)に対するお子さまの反応は若干低下しました(Q5 87.1→84.7%)。
- エコ・マザーを通して行う活動に対して、「九電社員が行うより身近でよい」とのご意見が多くを占めています(Q7)。しかし「九電社員が行ったほうが良い」とのご意見もあり、その具体的なものとして、
  - 「専門性があるから」
  - 「現実味があり、説得力がある」

#### ●「子どもたちの質問に答えられるから」

など、より専門的なコミュニケーションを求める意見をいただいています。

#### 〈エコ・マザー活動への反映〉

- これらのご意見に対し、2004年度には専門的知識がより求められる小学校全校生徒を対象とした活動に、環境部の社員が同行し、エコ・マザーとの連携による環境クイズを行い、好評をいただきました。
- 2005年度は、九州電力が持つ専門性の高い分野の活用と教育機関との連携について検討を行うとともに、エコ・マザーのスキルアップ向上にも努めていきます。
- 皆さまにとって、もっと身近な活動となるよう、広くPRを行うとともに、多様化するニーズにあったきめ細やかな活動となるよう検討を行います。

#### VOICE No. 11

#### 子どもたちと一緒にエコ・マザー活動を拝見して



鹿児島市  
たけ  
武サッカースポーツ少年団  
はらだ  
原田さん親子

ご縁があって、エコ・マザーの紙芝居を見る機会を頂く事になり、今回こういう形で感想を書く事に正直戸惑いがありました。正直に申しまして、私はなんて無知なんだと言う事、学生時代にCO<sub>2</sub>①という記号を勉強したのにもかかわらず何も分かってないんだと、自然の原理が分かるこの大変分かりやすい読み聞かせの活動に母親の私になるほどという点が多く、感心させられます。自宅では、節約の為に節電タップを使ったり、水の使いすぎに注意したり、自然の為ではなく家計の為に行うのが今までの考え方でした。自然が生きているから、私達生き物は心地良く生活する事が出来るのに、全然感謝の気持ちがないです。情けは人の為ならずということわざがありますが、自然に対しても同じ事がいえます。ひとり一人がそういう気持ちで自然と向き合っていれば、地球温暖化の原因である、CO<sub>2</sub>が少しでも緩和されると思います。結局は、「よい事をすればよい事が」、「悪い事をすれば、私達人間の生活もおびやかされる」と言う事をもっとたくさんの方に知って頂くこの活動を私は称賛し、勉強する機会を頂いた出会いの意味にも感謝します。そしてこれから、未来を背負っていく大事な私達の宝に伝えていきたいと思います。